

【技術分類】 1 4－1－1 自動車ブレーキ部品／初動装置／操作部材

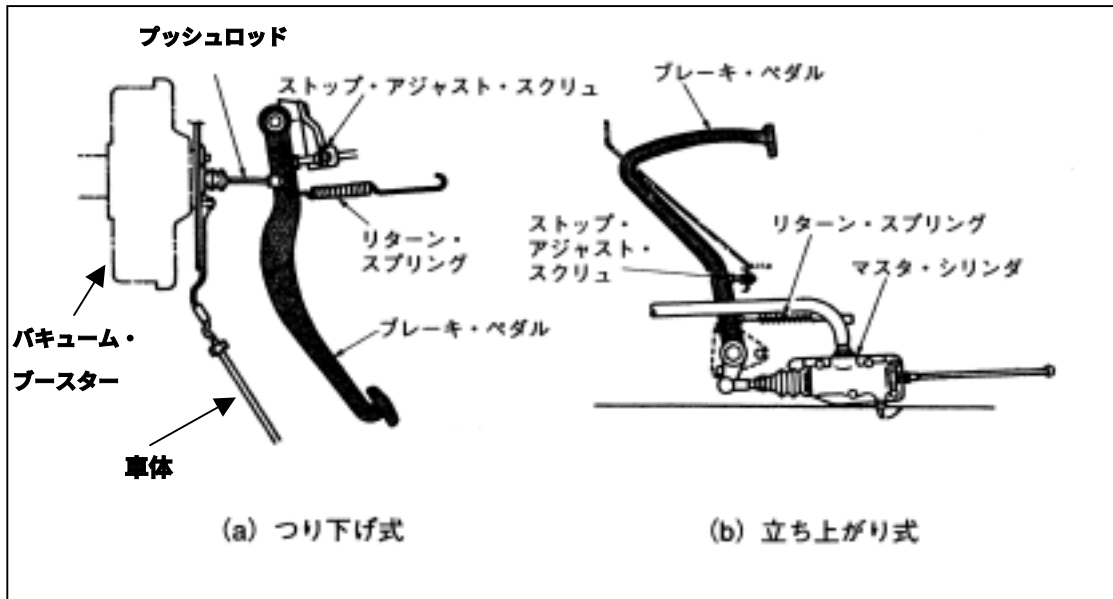
【 F I 】 B60T 7/06

【技術名称】 1 4－1－1－1 ブレーキペダル

【技術内容】

ブレーキペダルは人間の踏力をマスタシリンダに伝える役目をする。テコの作用により、踏力の数倍の力がプッシュロッドを介して、マスタシリンダに伝えられる。ブレーキペダルには吊り下げ式と立ち上がり式があるが、現在は吊り下げ式が一般的である。

【図】 ブレーキペダル



出典：「シャシ構造 1-3 訂 (自動車教科書)」、(2004/4/5)、全国自動車整備専門学校著
山海堂発行 頁 26-図 6-42

【出典／参考資料】

「シャシ構造 1-3 訂 (自動車教科書)」、(2004/4/5)、全国自動車整備専門学校著、山海堂発行

【技術分類】 1 4 - 1 - 1 自動車ブレーキ部品／初動装置／操作部材

【 F I 】 B60T 7/08-7/10、G05G1/02@C、G05G 1/04@C、G05G 1/14@A

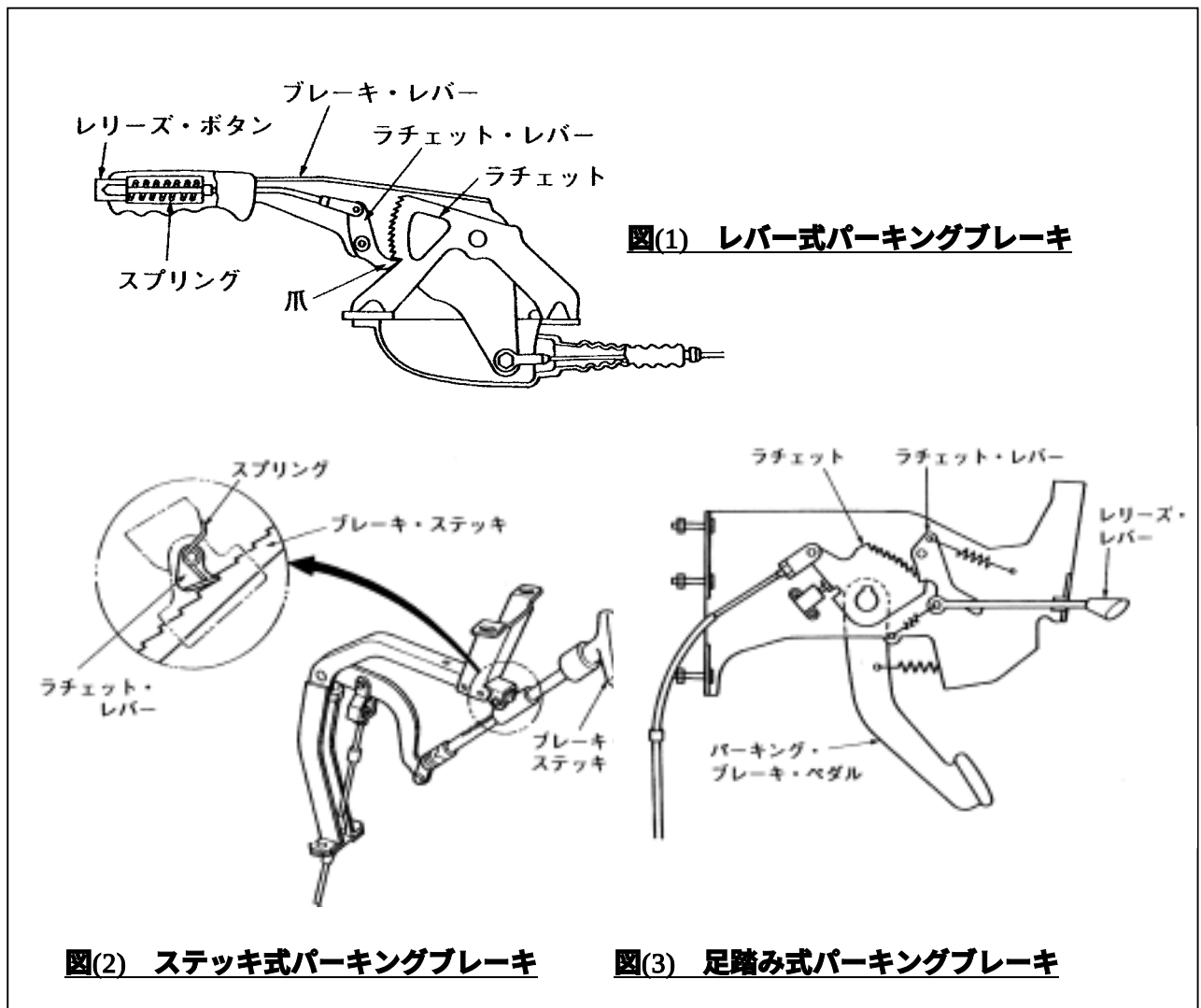
【技術名称】 1 4 - 1 - 1 - 2 パーキングブレーキレバー

【技術内容】

パーキングブレーキの初動装置には手で引くタイプとして図(1)のレバー式・図(2)のステッキ式がある。ともにテコの原理を応用して、手で引いた数倍の力でパーキングブレーキワイヤが引かれるようになっている。レバーやステッキを引くと内蔵されたラチェットに爪が掛かり、引いた状態で保持されるようになっている。パーキングブレーキを解除するには、レバー式においてはリリースボタンを押すことにより、ラチェットレバーの先の爪がラチェットより外れるので、レバーを戻せば解除される。ステッキ式においては、ステッキを回すことによりラチェットレバーの先の爪がはずれる。

レバー式パーキングブレーキを装着した場合、運転席と助手席の間のコンソールボックスに影響がでてくる。近年オートマチックトランスミッションの普及により 2-ペダル化が進んだこともあって、従来クラッチペダルのあった位置に図(3)の足踏み式のパーキングブレーキを設置する車が増えている。パーキングブレーキの操作は足でペダルを踏むことで行い、同じくラチェットにより保持される。またリリースレバーを引けば、ラチェットレバーの先の爪がラチェットより外れ、解除される。

【図】 パーキングブレーキ



出典：図(1)- 図(2)- 図(3)- 「シャシ構造 2-3 訂 (自動車教科書)」、(2004/4/5)、全国自動車整備専門学校著、山海堂発行 頁 70-図 6-128、 頁 70-図 6-129、 頁 70-図 6-130

【出典／参考資料】

「シャシ構造 2-3 訂 （自動車教科書）」、(2004/4/5)、全国自動車整備専門学校著、山海堂発行